臺灣新民 夕刊
九月七日
夕刊入間定一部二錢
臺灣新民社
臺北市榮町四丁目廿一番地
發行所 臺灣日日新報社
臺北市榮町一丁目（電話七八五）基隆支局（電話一〇）臺中支局（電話一〇七）臺南支局（電話一〇）花蓮港支局（電話一）
臺北市西門町一丁目（電話一〇）大阪支局
大阪市北區堂島濱通一丁目（電話一）東京支局
（第二種郵便物認可）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
昭和十三年九月九日（木曜日）
臺灣日日新報
第一万三千八百十九號
（一）

固始縣城一角占領
肉彈戰をもつて猛攻

【六安六日發同盟】固始縣城南側より肉薄した我が〇〇部隊は城壁より機銃、小銃、手榴彈をもつて抵抗する敵に對し肉彈戰をもつてこれを猛攻、六日午後七時過ぎに城壁の一角を占領し目下城内の殘敵を掃蕩中である

富金山山頂を占領す
三萬の敵軍全く潰亂

【葉家集六日發同盟】富金山麓の敵主要陣地群牛地を攻撃中の我が右翼部隊は六日午後五時これを占領した、また張家樓を奪取した部隊は勇躍西進同時刻頃には丁巳店北方地區に進出し左翼添田部隊は六日午後六時壯烈なる突撃を敢行し富金山山頂を占領した、神速果敢なる我が部隊の進出を阻止せんとした敵約三萬は今や眼下の隘路に充滿し富金山山頂より射撃する我が適確なる銃砲撃に人馬一塊りとなつて混亂を極めてゐる

三面より包圍
敵の死傷一萬
鹵獲品も莫大

【葉家集六日發同盟】中野、長谷川、佐野各部隊と相連繋して牛眼坡より一路に長孔北岸の敵陣地高地に進出した若松部隊先鋒は六日午前三時敵を蹴散らして敵前渡河に突入、その一角を占領し、同九時半完全にこれを占領した、敵の一部乗り込んで逃げ遅れた敵は同城南角より突入すると共に敵の退路を遮斷して殲滅した、敵の死傷は二百、馬九十、トラック二台、野砲一、手榴彈一千を鹵獲した、敵の死傷には城内外に殘る城内のみの數字にて、なほ上つてゐる

【葉家集六日發同盟】敵は第一防禦線と言はれたばかりに最後の防禦線と言はれる鷄寨、寨水を中心とする敵に非常な期待を與へ、且つ敵は徹底抗戦を企圖してゐる

敵の土氣頓に沮喪
武漢防衛の外線潰ゆ

【南京七日發同盟】敵は武漢攻略を急いで行動を起した我が武漢攻略軍は揚子江を中心に南北兩岸二百粁に亘つて強り巡らされた第二第三の大堡壘地帯を順次に切断し二路南口に向つて殺進を續けてゐる、既に揚子江北方地區に於ては早くも六日河南省西部の國境に突入する一方湖北省内に進撃せる部隊は同日夜西廣濟を陷れ漢口まで殆ど百粁の距離に迫つた、更に南昌方面に於ては既に九江を陷れ南潯鉄道を挟み南北兩方向に向つて進撃中なり、我軍の驚異的なる速度と共に敵の退却は混亂を極め、既に南潯鉄道の外線陣地は潰滅し、敵は内線陣地の再編成を急いでゐる

敵全線大動揺
早くも危機を生じ四日を中心として未曾有の大混亂に陷らんとする形勢となつた

【南京七日發同盟】既報攻略軍では敵の退路を遮斷すべく揚子江北岸の敵を掃蕩中、第九師は六日午後一時半頃蕪湖東北方約十五粁の地點に進出、更に第六師は同日午後四時頃蕪湖東南方八仟にある

山嶽地帶を突破
第二防禦線危し
廣濟攻略の重大意義

【漢口六日發同盟】大別山脈の樞紐に成功した六日午後五時半頃に廣濟を陷し更に北平原の一角に日章旗を翻さんとしつつある我軍は更に續いて西南地區に向つて殲滅戰を展開しつつある我軍は廣濟占領の戰略的意義は極めて重大なるものがあり即ち支那側は廣濟、蘄春間の天險を利して無數の防禦陣地を構築し李品仙麾下の精鋭をもつて武漢防衛の第一防地として最後の一線として死守してゐたが廣濟陷落の支那側に與へた精神的影響は甚大なるものあり、又この山嶽地帶の突破に依り蘄春、黄梅は支那側に極めて不利な情況となり武漢防衛の外線陣地、次々に粉砕され最後の抵抗線なる行嶋の前には大部に抵抗の力を失ふものと見られるに至つた

【漢口六日發同盟】大別山脈の樞紐に成功した六日午後五時半頃に廣濟を陷し更に北平原の一角に日章旗を翻さんとしつつある我軍は更に續いて西南地區に向つて殲滅戰を展開しつつある我軍は廣濟占領の戰略的意義は極めて重大なるものがあり即ち支那側は廣濟、蘄春間の天險を利して無數の防禦陣地を構築し李品仙麾下の精鋭をもつて武漢防衛の第一防地として最後の一線として死守してゐたが廣濟陷落の支那側に與へた精神的影響は甚大なるものあり、又この山嶽地帶の突破に依り蘄春、黄梅は支那側に極めて不利な情況となり武漢防衛の外線陣地、次々に粉砕され最後の抵抗線なる行嶋の前には大部に抵抗の力を失ふものと見られるに至つた

【ニューヨーク六日發同盟】大統領ルーズヴエルト氏は六日午後一時半ホワイトハウスに於て新聞記者團と會見し、目下の國際情勢に關し重大聲明を發表した、同聲明は英國王ジョージ六世陛下の米國訪問を機會として發表されたものであるが、その内容は米國の國防は米國自身の力によつて確保するとの決意を表明したものであつて、米國は如何なる國家とも同盟關係を結ぶ意圖なく、また如何なる國家とも軍事的協定を締結する意圖なきことを明かにしたものである

ヒ總統の宣言書
チエツコ問題に觸れず

【ベルリン六日發同盟】ヒトラー總統は六日ナチス黨大會開式の當日中に何等ナチス黨大會開式の當日中に何等ナチス黨大會開式の當日中に何等

無敵海軍の威容を
海軍館に御巡幸天覽
海軍大學校卒業式に親臨

【東京七日發同盟】天皇陛下には來る十日午前八時半宮城御出門、海軍大学校に行幸、卒業式に親臨遊ばされ次で同十時四十八分同校御幸啓記念館に御巡幸あらせられる筈、尚陛下には海軍の武勳を建て國體に七十二の偉績を殘された、東郷元帥の遺故南洲翁の大事業、海軍の創設と發展の歴史と綴合を物語る數多の參考品を御覽遊ばされる筈、尚陛下には海軍大學校に於ける御巡幸を仰出されたる事は既報の通りであるが、海軍當局に於ては陛下の御巡幸を仰ぎ奉り、多くの資料を蒐集して昨年五月二十七日より一般に公開されてゐるが、これも紙數節約の國策に從つて現在の二分の一台に縮小、紙質も落し目録色刷も二色以下と云ふ極めて簡素なものは製作せずパンフレットも實數を減少、閲覽者を絞れ"の名實の時局色濃厚を印刷するに至つてゐる由であるが、小梅庄には千八百名の住民を診察した結果によれば約二百餘名の者が肺病に侵されてゐる有様である、甲狀腺腫には總ての點が内陸的にも肉體的にも相當の缺陷を與へるものであるが、この部落の人達は首に水甕の様な大きな甲狀腺腫がぶら下つてゐる位それをなほしもしないで平氣で結婚してゐる位で大して之を苦痛と感じてゐないのには一驚を喫した、同部落は本島人部落で他の部落で食べてゐる様な米、雜穀類、肉類を當食してゐるので食物による影響はないと思ふが、山羊の住民で谷間の水を飲料する者に限り同病にかかる者が多い事から見れば飲料水中にカルシユムを含有する石灰質が甲狀腺腫の原因の一つではないかと思はれる、その撲滅策に關しては小梅庄に出張しつゝある同病の調査をなして五日に歸北した、次は同助教授の病理試驗である、さきに河石醫長が能く觀察をなした上として新地名の甲狀腺腫を見て來られたが、私は本地の同病を調査するために臺南州の小梅庄へ行つた譯である、臺南州には小梅庄の他に西螺、莿頭の各地方も同病が相當にはびこつてゐる由であるが、小梅庄に包含した袋ではないから直ぐ水を飲まないで井戸を掘るなり水道を引くとかの處置が必要であるが同院としては小田院長や河石醫長と相談の上

イタリー官民から
熱狂的な大歡迎
滿國使節團ナポリ着

【ナポリ六日發同盟】訪獨伊滿國使節團一行は昨夜定刻入港の照國丸でナポリ到着、六日午前九時二十五分上陸、國王陛下イタリー國王の第一歩を印した、イタリー政府代表バスチヤーニ外務次官以下文武高官多數及山崎駐伊大使等出迎へ午前九時二十五分バスチヤーニ外務次官は照國丸のサロンに歡迎の辭を述べ續いて皇帝陛下の御勅語に對し感謝の意を表した、一行はアンスト喇叭隊の吹奏裡に同港第一突堤から待機のエクセルシオルホテルに向つた沿道兩側にはファシスト黨員、ファシヨ青少年部隊、一般市民數万の歡迎を打ち振り歡呼を浴せた、一行がホテルに入るや間もなく數千の民衆は押寄せ市少年太鼓隊の奏樂で少女隊よりジオヴネツターを合唱する華やかな親善風景が展開された、一時半からは外務次官主催の午餐會に臨んだがホテル食堂は滿伊兩國國旗で飾められ歡迎の辭に續いて乾杯を上げアンベルト皇太子殿下殿に御祝詞を述べ殿下は御答辭を述べられ一時半から外務次官主催の午餐會に臨んだがホテル食堂は滿伊兩國國旗で飾められ歡迎の辭に續いて乾杯を上げアンベルト皇太子殿下殿に御祝詞を述べ殿下は御答辭を述べられ

高橋良少將
十日に離臺

高橋良少將は九日午後二時五十六分台北着列車で上北、午後六時二十分台北發基隆へ向け十日の便船で歸臺の豫定

井上幾太郎大將
十六日に來臺

【東京七日發同盟】陸軍省發表＝井上幾太郎大將は會の用務を帶び十六日來台、二十二日歸臺の豫定である

軍司令官の弔問
八日に變更

吉原軍司令官は七日台北在住廣死者遺族を弔問の爲であつたが八日午後二時からに變更をみた

井上幾太郎大將
十六日に來臺

【東京七日發同盟】陸軍省發表＝井上幾太郎大將は會の用務を帶び十六日來台、二十二日歸臺の豫定である

市川中佐戰死
富金山の激戰で

【東京七日發同盟】陸軍部發表＝市川部隊（一部缺）は五日午後七時富金山東南部の激戰で戰死した

國鐵の新方針
物見遊山客には
運賃割引を廢止
社寺詣で等は割引

【東京七日發本社特電】鐵道省では全國八地方鐵道局旅客課長會議を二日から六日迄本省で開催し左記事項に關し協議を目的とする社寺詣、ハイキング、スキー等は二割乃至二割五分引、遊覽飛行は五割引と三割に限つて遊覽飛行をする事に決定した、同省當局への旅行は國家が之を設定した證言から奨勵するが、遊覽旅行的なもの及團體的のものの實施は避ける方針で、遊覽地のポスター、繪葉書、鐵道案内記等の國費による作製は極力節約の國策に從つて現在の二分の一台に縮小、紙質も落し目録色刷も二色以下と云ふ極めて簡素なものは製作せずパンフレットも實數を減少、閲覽者を絞れ"の名實の時局色濃厚を印刷するに至つてゐる由であるが、小梅庄に包含した袋ではないから直ぐ水を飲まないで井戸を掘るなり水道を引くとかの處置が必要であるが同院としては小田院長や河石醫長と相談の上

戰歿勇士の遺族を
更に精神的優遇
厚生省で種々計畫中

【東京七日發同盟】厚生省當局＝事變勃發以來戰地に於ける勇士の華々しき奮戰振りは國民の感激の的となつてゐるが、これら勇士の遺族に對しては軍事扶助法その他の方法に依つて十分な物質的保護を加へてゐるが、更に精神的にも大いに優遇の方法を講じようと種々プランを練つてゐる、其内既に決定を見たのは軍人遺族葬の擴充と共同墓苑の設立で遺族は傍聽軍人と同じやうに今後は府縣知事から弔慰狀の形式の下に授與することとなり又共同遺骨はわが村から出した英靈の遺骨を永く傳へてその名譽を顯彰するとともに遺族に對する村民の感謝感銘の念を何時までも持續されるため全國津々浦々にこれを設けんとするものである

赤十字の救護班編成式
日本赤十字社臺灣支部にて八日午

【東京七日發同盟】陸軍省發表＝事變勃發以來戰地に於ける勇士の華々しき奮戰振りは國民の感激の的となつてゐるが、これら勇士の遺族に對しては軍事扶助法その他の方法に依つて十分な物質的保護を加へてゐるが、更に精神的にも大いに優遇の方法を講じようと種々プランを練つてゐる、其内既に決定を見たのは軍人遺族葬の擴充と共同墓苑の設立で遺族は傍聽軍人と同じやうに今後は傍聽知事から弔慰狀の形式の下に授與することとなり又共同遺骨はわが村から出した英靈の遺骨を永く傳へてその名譽を顯彰するとともに遺族に對する村民の感謝感銘の念を何時までも持續されるため全國津々浦々にこれを設けんとするものである

赤十字の救護班編成式
日本赤十字社臺灣支部にて八日午

支那人教員悉く解雇
教壇からの排日追放
昂まる暹羅國の親日

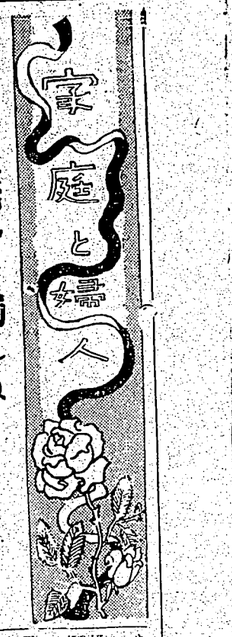
【香港七日發同盟】シンコック來電に依ればシヤムに於ける對支關係は今次事變發生以來益々緊密となりつゝあるがシヤム國教育局六日緊急閣議を開き支那人教師を全部解雇する旨を決定した、その理由は公表されないが支那人教師がその教壇から頻に排日教育をなしつゝあつたことが閣議決定の一因とも傳へられる

臺灣の家計調査
内地より好成績
記入中止世帶率は一割六分

本島の家計調査に關する大部分を占むる外、統計事務官補が其の數人に對し約されたる支出の内容を明かにして、各種の消費統計に關する統計的の參考資料を得んが爲めに昨年一月一日より實施されたもので、其の調査世帶數は百六十世帶を選定し、この家計調査を擔當する調査員は各州廳の統計主任及び各郡市の統計主任が之に當り、調査期間は一年間とし、調査方法は調査員が調査世帶を訪問して家計簿の記入方法を指導し、記入された家計簿は調査員が毎月一回宛之を回收して檢査を遂げ、調査期間中に於ける世帶の異動は隨時之を補充することゝなつてゐる、調査世帶の選定は各州廳に於て地方の實情に應じ適當と認むる方法に依つて選定したが、大體に於て本島人の家族數、職業、收入の程度等を考慮して選定したものである、尚調査世帶の選定に當つては調査期間中に於ける世帶の異動を極力避けるため

堤防決潰の揚子江

（松田特派員撮影）



ありたい

又、「時局を利用する商略」と稱する商業家に關しては、物資統制が嚴しくなれば、商人は「今買はれば一日お安くできます」と早ければ一日おくれば一日お安くなります、一日いふ宣傳文句を使ふと、是れは明瞭に買溜め心理を煽り、且つスパイにつけ込まれる憂れがあるので絶對禁止文句である

此の時、當局は「買ひ溜めを嚴しくせう、當局はサービスを禁ず上げます、今こそお買ひ時です」となれば經濟戰に注意される筈はないのである、法規の精神をよく呑み込んで、他商店がいちけてゐる時にこそ活躍すべきである。

私達に、全國商工會議所聯合會、相談所へ遠慮してゐるから、進んで相談に來て下さい

商店講座

取締令に觸れぬ特賣のやり方

割引賣りに心得べき點

眞に好い宣傳文句は？

東京市商工相談所調査課長
東京府物價調査員
前波仲子

誰でも云ふことですが、また特に商地から來た觀光客の耳にすることは、奇麗の商店の宣傳化です、物を賣つていただくと云ふ對話などは頭の振程もなく、買ひたいものがあつたらさつさと云へ、特に買つてあげる——と云つた態度、これや商賣とは申せません、いつかは客に見離され、サービス本位の店の繁昌するのに比して、ただ〳〵商賣の一途をたどるこんな態をより明らかでせう。この際奮起して顧客第位をなし、自力更生すべきです。

商賣繁昌、繁榮商店街は申合せたやうに何か贈物や賣出しをやつて成功してゐる

よく此の場合方法で「それ賣出しは御法度だ、やれ特價は經濟統制に觸れる」などと、早計にウンともスンとも商賣しない商店や商店街が多くなつたが、之は「物品販賣價格取締規則」と、故正「暴利取締令」の精神を充分に會得してゐない爲めである、夏の終りに近づいた今此の頃「全店一割引」或は「全商品大賣價」「バーゲン・セール」などと云ふのは、決して法の精神にも悖らぬことであるし、且つ又法規にも抵觸はしない。但し次の諸點を充分理解して置かないと暴利取締令の第二條の二項ち「價格表示」（正札勵行のこと）に違反となる慨れがある。

×　×

此の點、法に觸れるか觸れぬかは、一重に正に近い常識だけに、商略の新用が此の點で愈々大きくなるのである「全店一割引」（數日を限つてのなどのやうな價物では一割店内全部にわたつて全部二割引の時は、全商品二つの正札即正をする必要はない

しかし此の場合は割引は割引でも「何々賣」、「謝賣」、「感謝賣」などいふ商品名を表示して置かないと、暴利取締令第一條二項に抵觸するのである

×　×

地方都市に今流行の廉賣店舗で發行してゐるサービス・クーポンは暴利取締令の價格表示の項目に抵觸するから、必ず中止しなければならぬ。サービス・クーポンとは何かといふと、例へば二千錢以上の買物の時、二十錢迄にクーポン數が小さいペーパーを進呈し、

辰初の時に壁に貼した貨幣に、お客をして貼りしめ、合計金額が貼り終つたら一定の金額の商品を贈呈に賣はせるといふ仕組である

これは次の二つの理由で禁止されるのである、即ち

1、買ひ溜め心理を煽つて、消費節約の國民精神に悖る

2、商店から自發的に値ちお客の調査表に自ら割引することは、價格の正札をつけてゐることになるからである

店に店員の時に値をつけねばならぬこと、正札を割引するに當つて、お客の要求もないのに進んで割引するのは、正札の價値であつたことになるので、罰せられること

但し、次の場合の割引は例外であつて罰せられることはない

1、半切と刀一杯、或は酒一升とか饅頭二升とかをお客が纏めて買つた場合、一個賣り或は一會員の正札より割引すること

2、お客が買ひ控いと思つた品に、農業にもキズがあつたり、シミが附いてゐたのが其の

「大賣出し」或は「大特賣」を行ふことは、物資統制の精神にも國民精神運動の趣旨に決して違反しないし、且つ物品販賣價格取締規則にも抵觸はしない。しかし百貨店の離引賣出しと「大賣出し」は常套に「大賣出し」と同意に、無駄な勞賣心を煽るとい、理由で、罰せられる。此の点は遠へぬやう上にある。

身の上相談

相談相手もなく思ふに任る相談上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係迄御申込み下さい、電話や面會は御斷りします

飛んだ女と婚約した

問 私は本年二十二になる青年です。去る三月末頃近所のCといふ人の家にお茶の手傳に來中から來た妹といふ二十二になる女性が居ました。且はCの娘を介して私に紹介したのです。何しろ素性の判らん人であるから斷つたのですが其の後、しつこく申込んで來るので「まあ暫く交際して見たら」と周圍の者もいふので交際しましたが約一週間ばかりの中に不潔にも肉體關係を生じてしまつたのです。本人もまた嫁入先をCの娘も頼りに婚約を要求しますので心生の父から補償に從つて幾分の金を彼女の世話に贈り形ばかりの婚約をしたわけですが、それから直ぐ女は家中に嗣り、四週間ばかり經つて小生は徴兵檢査に合格して入營することとなりました。彼女の家は資産家の多いの知られてゐるCの娘で、貧乏な家庭といふのに相當しくない身なりをしてゐるし又方面關係例であつたことなど思ひ出して考もとより小生には結婚の意志があることで數日は第二番の非難を招くことともなりませう、彼女の親も承知したいであらうと惱んで

答 兎に角に婚約のことも既に取返しのつかぬ關係まで結んでしまつた事ですあれば理解と誠意ある態度とによつて彼女の家にお盆の手傳に來中から來た妹といふ二十二になる女性が居ました。且はCの娘を介して私に紹介したのです。何しろ素性の判らん人であるから斷つたのですが其の後、しつこく申込んで來るので「まあ暫く交際して見たら」と周圍の者もいふので交際しましたが約一週間ばかりの中に不潔にも肉體關係を生じてしまつたのです。本人もまた嫁入先をCの娘も頼りに婚約を要求しますので心生の父から補償に從つて幾分の金を彼女の世話に贈り形ばかりの婚約をしたわけですが、それから直ぐ女は家中に嗣り、四週間ばかり經つて小生は徴兵檢査に合格して入營することとなりました。彼女の家は資産家の多いの知られてゐるCの娘で、貧乏な家庭といふのに相當しくない身なりをしてゐるし又方面關係例であつたことなど思ひ出して考もとより小生には結婚の意志があることで數日は第二番の非難を招くことともなりませう、彼女の親も承知したいであらうと惱んで

先づ相手の眞相を見極めよ

答 とにかく婚約といつても既に取返しのつかぬ關係まで結んでしまつた事ですあれば理解と誠意ある態度とによつて彼女の家にお盆の手傳に來中から來た妹といふ二十二になる女性が居ました。且はCの娘を介して私に紹介したのです。何しろ素性の判らん人であるから斷つたのですが其の後、しつこく申込んで來るので「まあ暫く交際して見たら」と周圍の者もいふので交際しましたが約一週間ばかりの中に不潔にも肉體關係を生じてしまつたのです。本人もまた嫁入先をCの娘も頼りに婚約を要求しますので心生の父から補償に從つて幾分の金を彼女の世話に贈り形ばかりの婚約をしたわけですが、それから直ぐ女は家中に嗣り、四週間ばかり經つて小生は徴兵檢査に合格して入營することとなりました。彼女の家は資産家の多いの知られてゐるCの娘で、貧乏な家庭といふのに相當しくない身なりをしてゐるし又方面關係例であつたことなど思ひ出して考もとより小生には結婚の意志があることで數日は第二番の非難を招くことともなりませう、彼女の親も承知したいであらうと惱んで

（K生）

建設マンガ

日の丸ベンチャー

（5）

下川四天

佛事小解

（五）

これだけは心得よ

◇山　號◇

山號は寺號の名稱點ち寺號に冠する別號であります、例へば三緣山增上寺の如きもので、これは支那からの傳來、かの地では都號を選けて命名されます、その所在地の山の名をとつて寺號の上に冠したもの、それが我國に傳はつたのは、鎌倉時代以後とされてゐますが、寺号の如何を問はず多くの寺院は山號を持つてゐます

寺刹と稱へられる寺院には山號のないものがありません、例へば浅草の東大寺、芝増寺の如きものはそれです

また、寺院には「別院」と稱するものを持つてゐるところがあります、これは本寺から隔れて別に建てられた支院のことで、各宗本山に由緣ある地に別院をおきます別院は本寺の寺號を用ひ、特別に寺號を用ひることはないが、別の寺を併合して獨立に開宣上招寺號を許します、たゞ別院は支院ではあるが、獨立した寺號と住職をもつてゐるものをいひます

◇阿　伽◇

佛に供へる飲食物の總稱ですが後その飲食物と盛る器の意味に轉じ、更に變つて、佛に供へる水の意味に用ひられるやうになりました、また、供物の載せる台を阿伽棚などと稱へますが、何れも清淨を表明する意味であります

なほ、序ながら、戒名は名僧知識に授けて與へ得るものでありますが、中には寺僧を煽はさやにつける人もあります、その生前社業奉行をよく知つてゐない寺僧には、すこしも、といふ意味でもありませうが、この場合には二の戒名を「院號」に示し「位牌の題文（しゆもん）を録て、白木の位牌なり、墓石に「位牌」に記して遺ふべきもの戒名をもつことになります

なほ夫婦の戒名を墓石に刻み、要の方は朱字に彩色を入れておき、死亡と共に、朱を除くのが例となつてゐますが、かの川柳子は「赤信女がまだ生存み」の如く、俗世間の一斷面を發見してゐます

知識の泉

一分間講座

戒名に本を並べるのに全然無關係の人もあれば佛には、内容に依つて區分して立てるか、經紙の色彩に依つて區分して別しないと氣の濟まない人があり、研究室の人は

婦人病に衛生的で簡單にできて結果がよく譯病院でも使はれてる發明療法

ワセトン液に治療の結果がよく認められ、八分位迄に滑脱作用が無くなり、一般に、膣きのるのが第一で、膣部へ膣粘膜を冒す事が多く、現在でも病膣が分なのと混れた想ため淡液を出し、内膣奥に膣、膣膣粘膜を冒す事が多く、現在でも病膣が分なのと混れた想

類似品代用品ではダメ正品ワセトン珠を

◇治療◇　法としては醫師の指示なら出來るのでホルモンの注射を膣膣の膣に行ひ、疾

悩みを清め明朗になる

新潟・大倉谷堀房子

眞經昔お送り下さいました經典で此頃は殆ど下物もなく月經時に下腹や腰の痛みなく、毎日樂しき日々を送つてをります。これも經のお陰と感謝に堪まず、母も大變良いお經だと喜んで呉ました。もう一度差數でも二遍分送つて下さいませ。代金は即回の如く為替送りました

味の素

戰ふ我らの食慾を護る調味料

重要さは益加はるばかりです

江戸桃花陣 (133)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

（禁上映）

流連荒亡 (五)

立花御殿と御石とは出入り友だちだ、といふではなかつた。

去年の暮、二人が行きつけの居酒屋で飲つてから、知り合ひになつたのだつた。御殿は、御石が御殿から先に食べようと、また、御殿から箸を取らうと、御殿が生ビールを飲まうと、御石が自分のものから箸を取らうと、御殿が自分の方から先に食べようと、また、御殿が生ビールを飲まうと、御石が自分の方から先に食べようと、また、御殿が生ビールを飲まうと、御石が自分のものから箸を取らうと、御殿

臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十三年九月八日（木曜日）臺灣日日新報 第一万三千八百七十一號
日本夕刊共十二頁 定価本一部六銭・二日分金拾二銭・一月分金四拾五銭・三月分金壱円参拾五銭・六月分金弐円六拾銭・一年分金五円四拾銭（日本国内及支那ニ限リ郵税不要）
臺北市榮町四丁目十番地 臺灣日日新報社 電話 代表八〇四番 編輯局二一五六番 営業局二一五七番 振替口座臺灣一一七番

固始縣城に入城

大別山の敵防禦樞軸

我が猛撃に潰滅

（固始七日發同盟）七日未明○○部隊長の率ゆる主力部隊は堂々固始城に入城、茲に敵の大別山系の防禦樞軸は脆くも崩潰し敵は目下西南方光州方面に潰走中である、太田部隊は時を移さずこれを追ひ光州目がけて疾風の如く進撃中

【○○七日發同盟】固始縣城攻略中の太田部隊は六日夜固城外に到着せる○○川、西大橋團部隊と協力して同城を攻撃（太田部隊の一部は六日深夜城内に突入、殘敵を掃蕩、七日拂曉主力部隊も入城、完全にこれを占領して殘敵の一部は六日夜固城の西南方に向け敗走中なり）

信陽一帶に一大脅威

【上海七日發同盟】我が○○部隊は河南省東部信河の西岸に於ける敵の防禦陣地を突破して信陽の目前に迫り、同地の攻略は最早時間の問題となつた

廣濟を陷れて猛追撃

【九江七日發同盟】六日午後廣濟を占領した我が江北派遣部隊は間髪を入れず追撃を打つて敗走する敵を西方に追ひ、廣濟攻略の鍵に與へた打撃は殆んど大部分の敵部隊を殲滅せしめて居り殘敵數百名を掃蕩中である、廣濟攻略の鍵に與へた打撃は殆んど大部分の敵部隊を殲滅せしめて居り殘敵數百名を掃蕩中である、廣濟攻略の鍵に與へた打撃は殆んど大部分の敵部隊を殲滅せしめて居り殘敵數百名を掃蕩中である

月明下に奇襲戰

遂に蜘蛛山を占領

【馬當特電七日發同盟】馬當攻撃以後つゞく間もなくその西方山地に進出した○○部隊は、○○○

長期戦下における生活物資の動向（四）

本社大阪支局調査

靴下

綿糸下は他繊維の製産問題と同様に原料供給が細ってゐるといふ点もないがその代り人絹スフは従来の生産の三割配給が行はれてゐる、毛糸も八月迄は自由に使用してよい事情の現物製品も自由にあつた、但し此の九月からは千組のスフ混入でなければならないことになり今迄比較的統制外に於かれてゐた靴下界も遂に本格的統制の下に立つやうになつてきた、隊に編織七割毛糸二割物の手持毛糸は来る十一月十五日迄に繊維工業組合へ届出ることになつた、之だけでも靴下界は他に比して恵まれてゐると云ふ訳が出来る、それから先は無論オールスフのものとなるわけで政府も勿論それを奨励してゐるが、従来下請にされてゐた所にとれば加工賃に開きがあつて適当でないこと、原糸の結配に関しては差別待遇を受けること、且つ織業では安い二足五十銭と云つたサービス品を入れるやう官局に申請運動中であるが、おそらくその現物を見れば当局者も編織の低級を認めるだけ容易に許可するであらうと業界では期待してゐる、尤も現在問題されてゐるスフは後からの配給を約束されてゐるスフは後からの配給を約束してなんとか処理しつつあるもののまだ〳〵綿糸下は相当にストックがある、製造当初、デパートの手持がなくなるのは三年後であらうと観測されてゐる、只、今迄の如く二足五十銭と云つたサービス品は市場から姿を消すことになるは必然でその点大衆にとつては可成の値上げとなるであらう、次に純毛物のストックは五六年間位使用し得るものがある、問題の必要はないわけだ、次を五へば統下は従来供給過剰で業界は可成赤字のものがあつたので此度の制限で却つて工度よくなるだらうとの楽観的な見方もある、既に最高価格も決定されたが、問屋筋では高過ると云ふ、其だけストックはあり修理あるとも云ひ得るのである

佛蘭西國民祭に參列したスダン人

銀河の秋

（上）

野尻抱影

この夏は雨の日が多くて、澄んだ天氣が定まった頃には、肌はもうすっかり初秋の心になつてゐた。天の川は高々と天頂に架つて西南の地平に落ちてゐる、「銀河天に横たはりて万古秋なり」と漢詩にあるやうな秋の天の川は、日本内地では一寸想像できないが、一か二週間後の陰暦八月の晩などは、銀粉子を撒いたやうな天の川を見ることは珍しくない、田舎や、特に山地の陰暦八月夜の美しさはいふまでもない。

まことに初秋の今ごろから、夜は天の川の領分である、大きな星さへ天の川の中や、両岸に集つてゐるものが多く、それを隔てた空には際立つて淋しいのに氣がつくことだが、夏の星座のペイジェントが、先づ終つて冬の華麗な舞台が開くまでの暫時に、暫らく銀河を観賞し、観賞に飽きてゐることは、天にも心あつてのことのやうに思はれる。

★

今天頂で天の川を挟んで振つてゐる二つの大きな星は、北の織女、南のやや黄味かかつたものが彦星で、七夕の夜の見果てぬ夢をかち目、逢て語り合つてゐるやうである。

織女はいつ見ても美しい、天上のダイヤモンドといふより他、形容の言葉はない、特に秋風に際ふ星座の縁からすべり出る瞬間のきらめきを見上げるだけでも、天文ファンの喜びは満喫される、飛牛ほその北と南をやや小さい星が挟んでゐて、三つで一直線をなしてゐるのが目當てとなる、この三星を地方により「牛飼のおとも」とんでゐる

しかし、今見て欲しいのは、この女星織よりも、それを挟んで天の川の両側に跨つてゐる五つの星の大十字である、支那ではこれを銀河の渡し場として、天津と呼んでゐるが、今の星座では白鳥座でゐるが、今の星座では白鳥座で、ある、つまり、この十字を白鳥が両翼をひろげ、長い頸をのばして天の川の面を泳ぎ渡つてゐるものと見るのが星座の絵画としても一番優秀な一例である

晴れ渡つた夜★

晴れ渡つた夜に仰げばすぐ分ることだが、天の川はこの白鳥の胴の部を境ぎつて細長い形の黒い穴を挟つてゐる、西洋では「石炭袋」と呼んでゐるものだが、昔ではこれは支那通り天の川の穴で向ふの空が透いて見えるものと信ぜられてゐた、しかし正體は、或る黒い物質が横たはつて背景の星を隠してゐるので、これが学者が暗黒星雲と呼ぶものである

暗黒星雲のあるのはここばかりでない、「石炭袋」のロをこんだ所もであつて、それは再び黒く開いてゐる星は雲海の亀裂のやうに天の川の西岸へと走る、それに連れて天の川も幅を加へ、地平に没きる辺では最も広くなる、それに枝川を出したり、洲を造つたりして、且つ個々を観光に富む

★臺灣の童謡★ 水牛のぢいさま

石田道雄

大きく　澄んでる
黒いお目、
牛のお顔が
やさしいな。

あをい　林檎で
めがね　でも、
ここへて　掛けて
あげたいな。

統制萬能の現在に於て

川路柳虹

女学生の言葉使ひが問題となつてゐる。近頃の女学生の用語中代名詞に、もしくは副詞に、男性的なキミ、ボクなどといふ言葉を用ひたりする者がゐる、といふ——それに関して一部の教育家並びに文部当局が日本女性にあるまじき乱暴な言葉に対してその撲滅と匡正とを要求してゐる。だが、現在に於て、それほど極端な言葉を使つてゐるのは女学生の一部の女性であり、女学生中にあつても二つの女性的言葉へのなどといふ言葉を用ひたりする者がゐる、といふ——それに関して一部の教育家並びに文部当局が日本女性にあるまじき乱暴な言葉に対してその撲滅と匡正とを要求してゐる。だが、現在に於て、それほど極端な言葉を使つてゐるのは女学生の一部の女性であり、女学生中にあつても二つの女性的言葉へのイカニモ我々が国を挙げて戦時総動員運動は、動員を行ひ、一生懸命にやらねばならぬ、ということを叙べた。

然し、サテ何をるべきか！と考へると一般大衆は、ハタと困つてしまうのではあるまいか。今こそ「物資統制」断行して、軍需品、輸出品を増産しない。又貿易に支障なきやう「われ」「なれ」「おのれ」「なんぢ」「汝」等の代名詞を統制されてゐるが、これが中古以来の慣習が急に改まるものでもあるまい。お国、我、貴国、彼、あれ、お前、我等、貴殿、彼奴、あなた、おのれ、——少し古いところで、やつがれ、手前、貴様、彼奴、あなた、こなた、等等使ひ分けの慣習にまかせて置いてもよいと思ふ。

私も、安全第一を遵守するなら、軍隊、自動車がはいれぬ程の其国の方を通行中、何を話甲斐にやさき位置にまで、ここに於ては「われ」「なれ」「おのれ」「なんぢ」「汝」等の代名詞を統制されてゐるが、これが中古以来の慣習が急に改まるものでもあるまい。お国、我、貴国、彼、あれ、お前、我等、貴殿、彼奴、あなた、こなた、等等使ひ分けの慣習にまかせて置いてもよいと思ふ。

安全地帯の話

昔、銀座の電車を待つための安全地帯は、白い線を引いただけのその標識をしておいたのだらうである。

ところが、チョットしたハズミに自動車が乗り入れたり、或ひはワザと自動車がはいつて来たりして、折角の安全地帯が本当の役目を果さないため、さえ頭をヒネツタ学者連が、その地帯を建て直して高くしたところ、それ以来不思議に殺人するものの跡を絶つた、と云ふことである。

具體的と云ふことの大切さ

即に遠ざけた二つの標は、私達に反抗的感じ、もしくは「ケチくさい」感じを与へるであらうか。

ジャレ屋連で使はれてゐるのでは決して全部で使はれてゐるのではない、その原因はレグニールの男女の職人の科白などの影響らしい。

×

特に女性と言はず、本来近代の日本語には感動時代名詞といふものがないのだ、在るのは感嘆詞程度で、キミ、ボクをはじめ、私、わたくし、あなた、おれ、お前、我等、貴殿、彼奴、あなた、こなた、等等使ひ分けの慣習にまかせて置いてもよいと思ふ。

この点に於て、江戸日本の平易な日本語を見て、我国の行くべき道を国民に示してゐるのは、以下手本とすべきではないだらうか！

但し、その指導なり、啓示なりが、相手として漢語や英語の勉強をせる、と云ふ様な国民に対しては、又何かの工夫がなければならない。

×　×　×

○○負の標示下を上げすり減つて、警告の標示を行はない、その数箇所の横断歩道をあるに云ふことである。現横断歩道、なんてことである。

ところが、その横断歩道の標示に依つて、車馬の通行を制限されてゐる人々は、その標示を守つてゐるであらうか。

紙を節約する（一）

角錐生

ある風景

「民間防衛総動員ツて、何のことかお分かね。俺屋さん——」

ある雑誌記者は、戦時の地方視察を課るため、K市の旅行で俺のとから声をかけた。

「それア、判りますヤ旦那——」

「……ちやア、どんなことと思ふ？」

「それア、旦那判つていますかネ……」

「だからサ、何のことかつて聞いてゐるんだヨ」

「……つまり、そいつはかうなんでせうが……その——、戦争だからまア、みんなで一生懸命にやらうと、かういふ訳でがせうが……」

「……」

「恐ひますかな、旦那……」

記者は、その答を躊躇は様に考へてゐるのを、急に反問されて慌てたから、

「まア、さう云つたものだね……ところで敬礼時久ツてのはどういふことかね——」

俺屋はグルリと振り返つた。

「旦那……カラカッヤいけませんぜ」

「からかふもんか……真面目に訊いてゐるんだヨ」

「ダッテ、旦那に判らないやうぢやありませんか」

「イヤ、さうもないよ……人はみんな考へ方が違ふからネ」

「それちや、旦那、からうありませんか……つまり、その挙つた、くさへば、永久的敬礼をしろ、とかういふ訳で……」

記者は、チラッと俺屋サンの年若つた顔を見たが、そのまゝ口をつぐんだ。

彼も、それ以上、聞いなかつた——。

安全地帯の話

昔、銀座の電車を待つための安全地帯は、白い線を引いただけのその標識をしておいたのだらうである。

ところが、チョットしたハズミに自動車が乗り入れたり、或ひはワザと自動車がはいつて来たりして、折角の安全地帯が本当の役目を果さないため、さえ頭をヒネツタ学者連が、その地帯を建て直して高くしたところ、それ以来不思議に殺人するものの跡を絶つた、と云ふことである。

具體的と云ふことの大切さ

即に遠ざけた二つの標は、私達に反抗的感じ、もしくは「ケチくさい」感じを与へるであらうか。

ジャレ屋連で使はれてゐるのでは決して全部で使はれてゐるのではない、その原因はレグニールの男女の職人の科白などの影響らしい。

×

特に女性と言はず、本来近代の日本語には感動時代名詞といふものがないのだ、在るのは感嘆詞程度で、キミ、ボクをはじめ、私、わたくし、あなた、おれ、お前、我等、貴殿、彼奴、あなた、こなた、等等使ひ分けの慣習にまかせて置いてもよいと思ふ。

この点に於て、江戸日本の平易な日本語を見て、我国の行くべき道を国民に示してゐるのは、以下手本とすべきではないだらうか！

但し、その指導なり、啓示なりが、相手として漢語や英語の勉強をせる、と云ふ様な国民に対しては、又何かの工夫がなければならない。

×　×　×

○○負の標示下を上げすり減つて、警告の標示を行はない、その数箇所の横断歩道をあるに云ふことである。現横断歩道、なんてことである。

ところが、その横断歩道の標示に依つて、車馬の通行を制限されてゐる人々は、その標示を守つてゐるであらうか。

合理的な気持

昨夜、食事時の話題を国家と国家に於ける時局にまで持つて行くのは、余りに大袈裟である。

何かをしようとすると、必ず理由をつけようとする。その理由を探すのに手間取る。

そして

「……にして、手間がかゝるが、それだけ大切なものである」

「目的に対して、手段が小さければ、それはムリである」

「目的と手段が適当したとき、始めて物事が合理的に行はれるのである」

ところで世間には、いかに多くの不合理があればそれらの人達を惑はしてゐることであらう。

例へば、第一の例に於て記者は次の如く述べてゐる。

「国民精神総動員にしても、聖戦呼応、億兆一心、貯金報国にしても、標語が支那の抗日スローガンのやう、漢字ばかし使はねばならぬ理由はないさうだ、日本には日本の美しい言葉と立派な文字がある。漢字者流で難しい云ひ廻しをしなくても「貯金報国」などと余やかに云はずに、「お国のために貯金して下さい」と言つたらどんなものであらう。「愚誠一心」と言ふよりは、「戦争だ、みんな一ツ心で」と言つた方が、またピタリとする、さう云ふ表現には作家やヂャーナリスト、雑誌ハ新聞記者がゐる、政府はどうしてさういふ人達を総動員しないのであらう。……」

が、このやうな例は世間にザラにあると考へる。

例へにある商店が新任して、一般大衆に自分の方針を知らせやうな場合、中華料理屋を出すのも難儀だ、麺屋片手でないと判らぬ程難しい説明を店に使つてゐるか、と思へば、学校出の主任さんが、職工をつかまへて英語まじりでコンソンと説き聞かせてゐる。聞いてゐる方では、何が何だか判らないし、しまひには「人を馬鹿にしてゐやがる」と憤慨してしまふ。

ところで、へへへへ